

## 佐賀市商工会における経済動向分析

令和7年3月  
佐賀市南商工会

## 目 次

### 1. RESAS地域経済分析システムなどを活用した地域の経済動向 — 2

1. 人口推移など	—————	2
2. 産業特性	—————	9
3. 観光・交流人口	—————	14
4. 交流人口増大に関する道路計画	—————	19

### 2. 佐賀市南部エリアの魅力的地域づくりアンケート調査 — 20

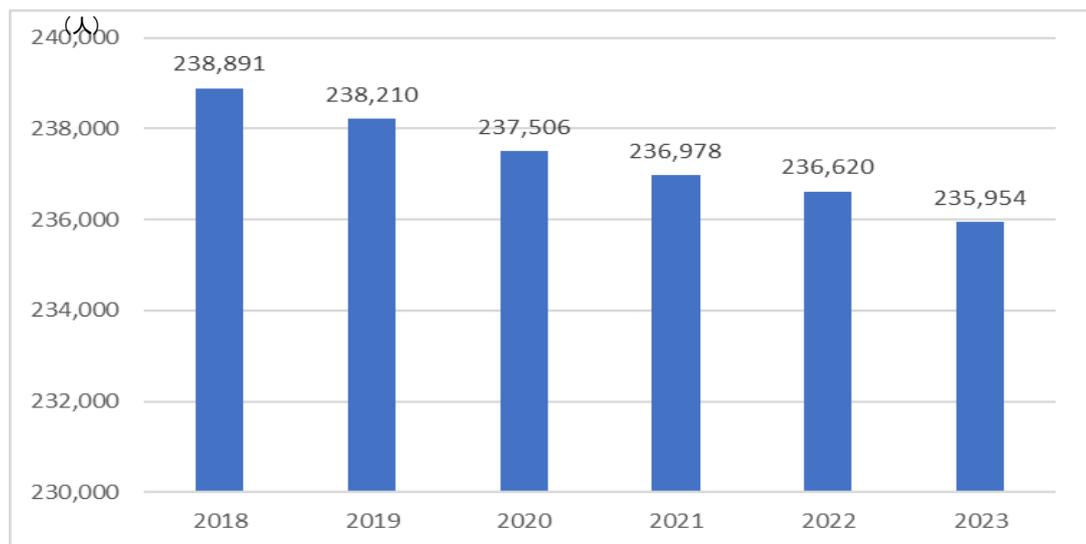
## 1

## 人口推移など

## 1. 佐賀市の人口

佐賀市の人口は、2023年現在、235,954人です。5年前と比較して、1.2%の減少となっています。

佐賀市の人口推移

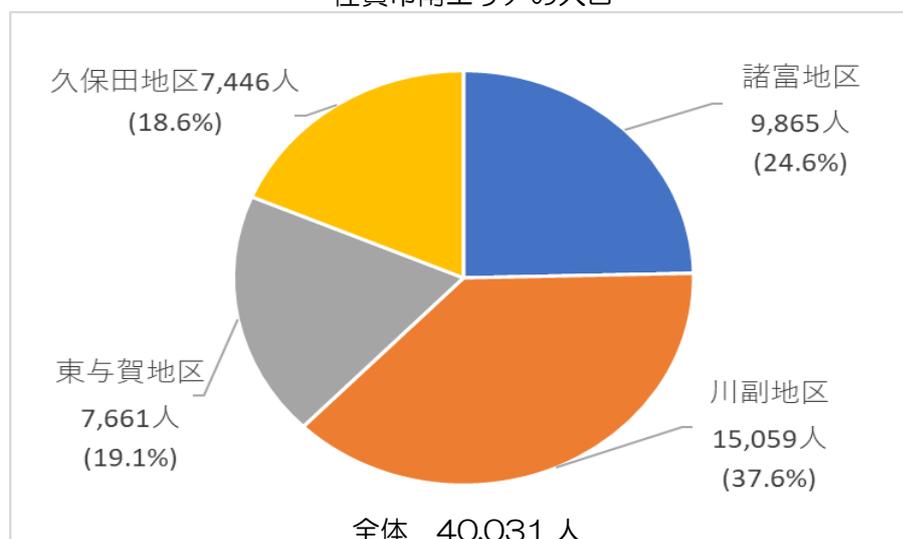


出展：佐賀市統計データ

## 2. 佐賀市南エリアの人口

佐賀市南エリア(諸富地区・川副地区・東与賀地区・久保田地区)の人口は、2023年現在、40,031人です。地区別では諸富地区が24.6%、川副地区が37.6%、東与賀地区が19.1%、久保田地区が18.6%となっています。

佐賀市南エリアの人口

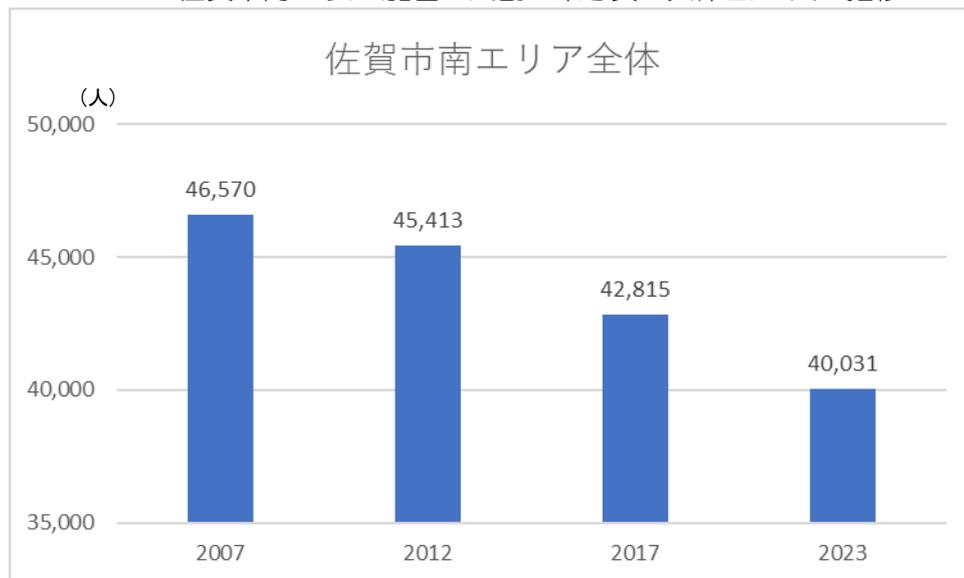


出展：佐賀市(住民基本台帳)

### 3. 佐賀市南エリア(諸富・川副・東与賀・久保田)の人口推移

佐賀市南エリア(諸富・川副・東与賀・久保田)の人口は、年々減少傾向にあります。15年前の2007年と比べ、14%の減少となっています。

佐賀市南エリア(諸富・川副・東与賀・久保田)の人口推移

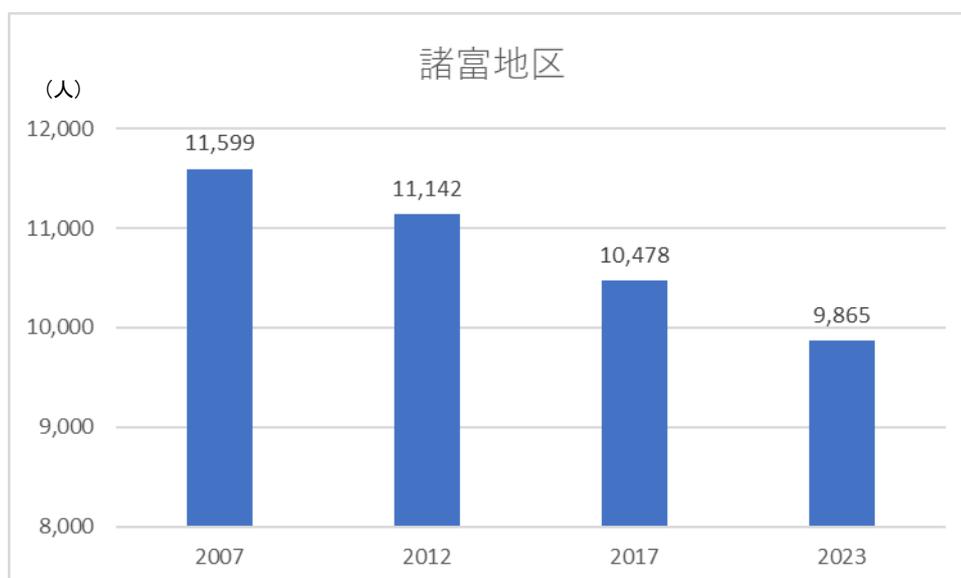


出展：佐賀市(住民基本台帳)

### 4. 諸富地区の人口推移

佐賀市南エリアの諸富地区は、2023年現在、9,865人であり、人口減少傾向にあります。15年前の2007年と比べ、15%の減少となっています。

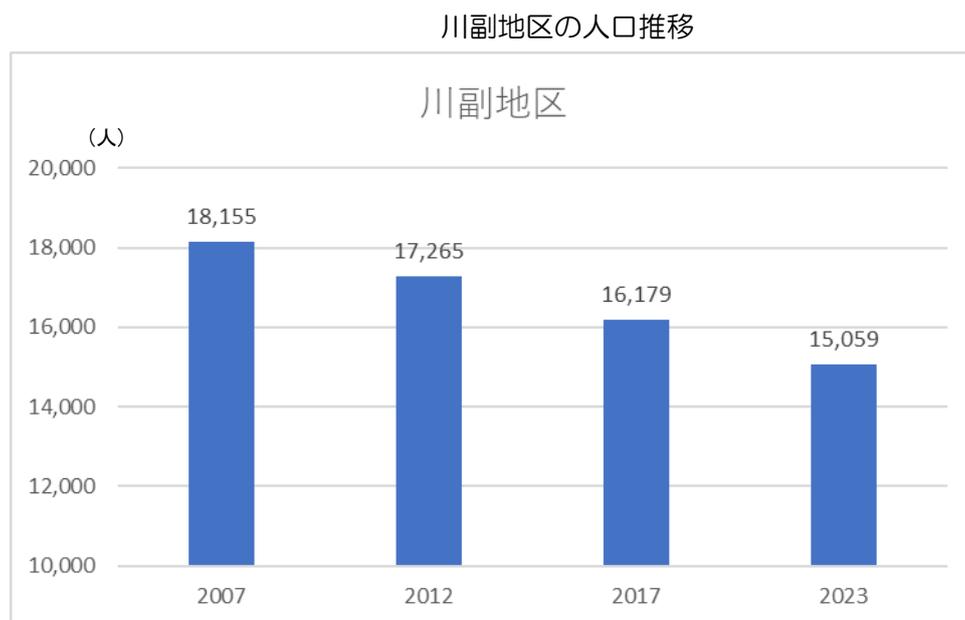
諸富地区の人口推移



出展：佐賀市(住民基本台帳)

## 5. 川副地区の人口推移

佐賀市南エリアの川副地区は、2023年現在、15,059人であり、人口減少傾向にあります。15年前の2007年と比べ、17%の減少となっています。



出展：佐賀市(住民基本台帳)

## 6. 東与賀町地区の人口推移

佐賀市南エリアの東与賀地区は、2023年現在、7,661人です。2007年から2012年にかけては宅地開発などが進んだため人口増加傾向でしたが、その後は人口減少傾向にあります。15年前の2007年と比べ、9%の減少となっています。

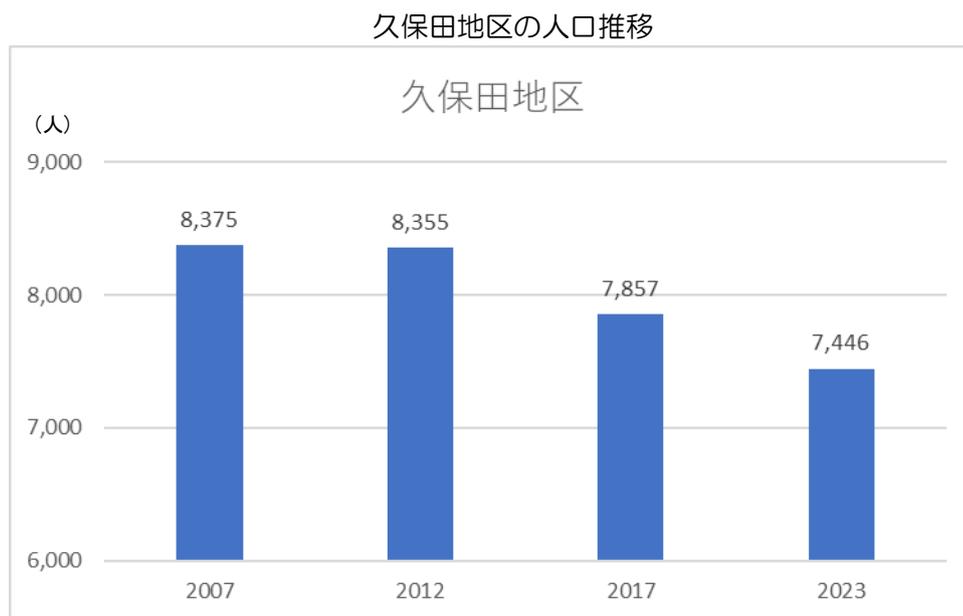
東与賀地区の人口推移



出展：佐賀市(住民基本台帳)

## 7. 久保田地区の人口推移

佐賀市南エリアの久保田地区は、2023年現在、7,446人であり、人口減少傾向にあります。15年前の2007年と比べ、11%の減少となっています。

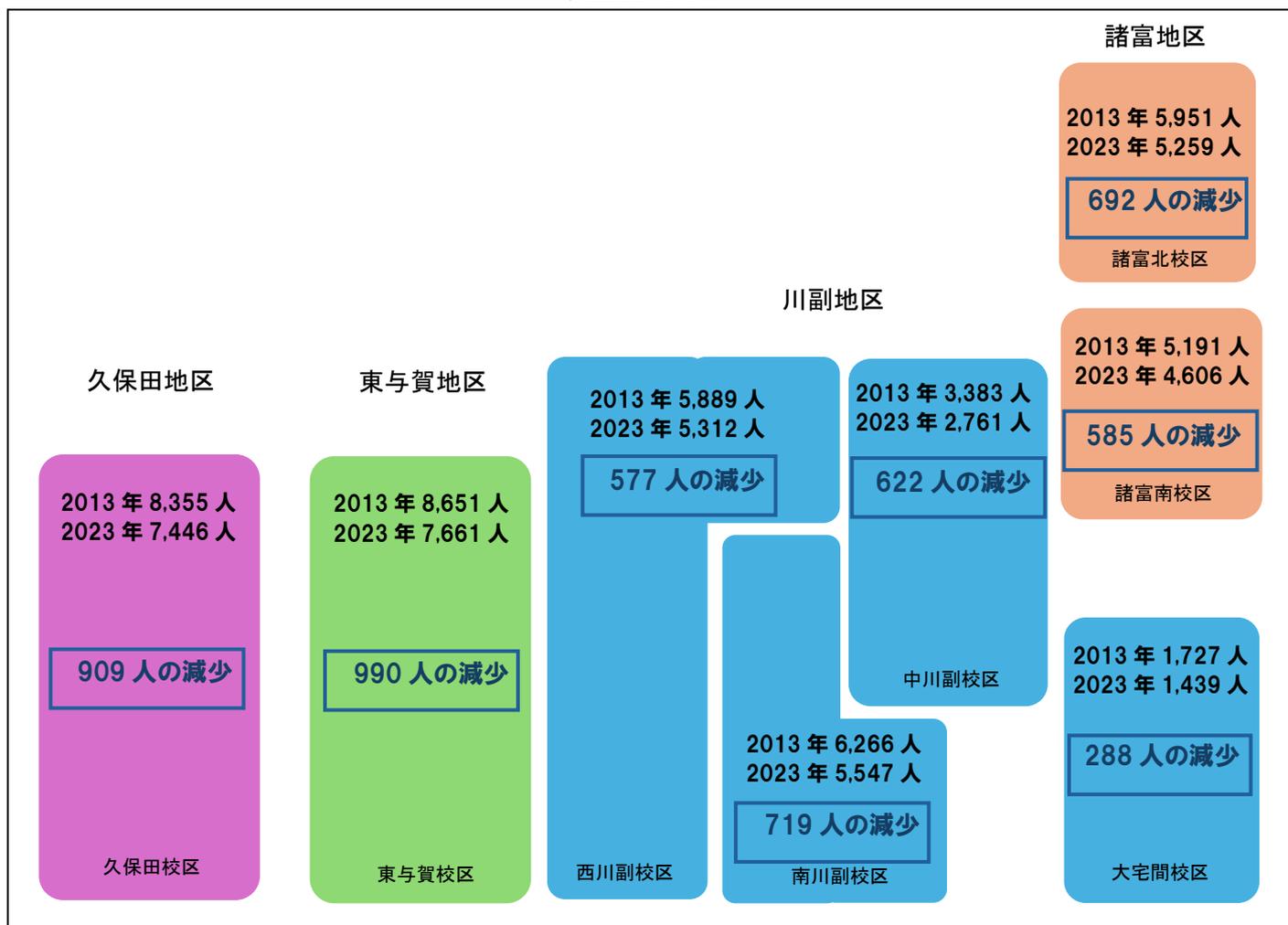


出展：佐賀市(住民基本台帳)

## 8. 校区別人口

校区別にみると、すべての校区で人口減少となっています。最も減少率が高いのが中川副地区で18.4%の減少率で、低いのが西川副地区の9.8%となっています。

校区別の人口



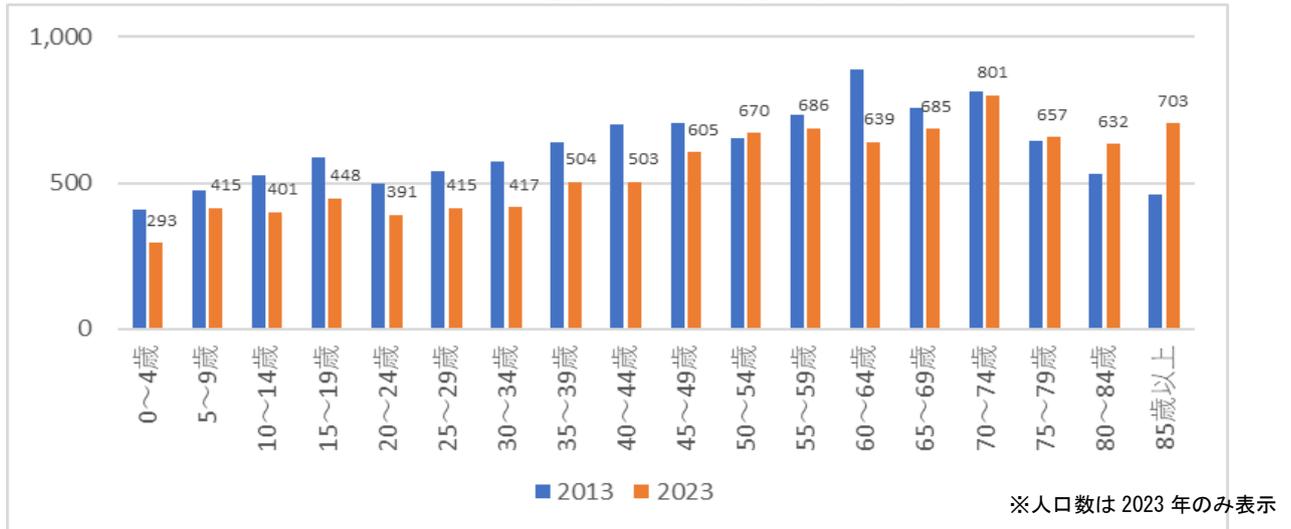
出展：佐賀市(住民基本台帳)

	減少率 (2013年-2023年)
諸 富 北	-11.6
諸 富 南	-11.3
中 川 副	-18.4
大 詫 間	-16.7
南 川 副	-11.5
西 川 副	-9.8
東 与 賀	-11.4
久 保 田	-10.9

### 9. 諸富地区の5歳階級の人口推移

諸富地区で、2013年と2023年の10年間で5歳階級別人口を比較すると、「0～49歳」、「55～74歳」は減少で、「50～54歳」、「75歳以上」は増加しています。特に「85歳以上」は大きく増加しています。

諸富地区の5歳階級別の人口推移

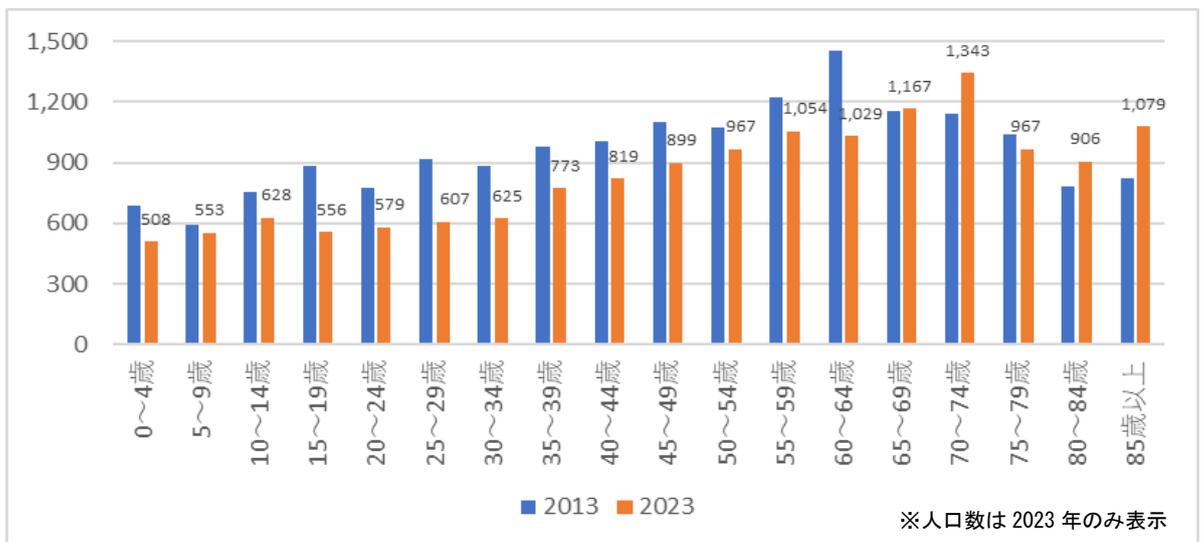


出展：佐賀市(住民基本台帳)

### 10. 川副地区の5歳階級の人口推移

川副地区で、2013年と2023年の10年間で5歳階級別人口を比較すると、「0～64歳」、「75～79歳」は減少で、「65～74歳」、「80歳以上」は増加しています。

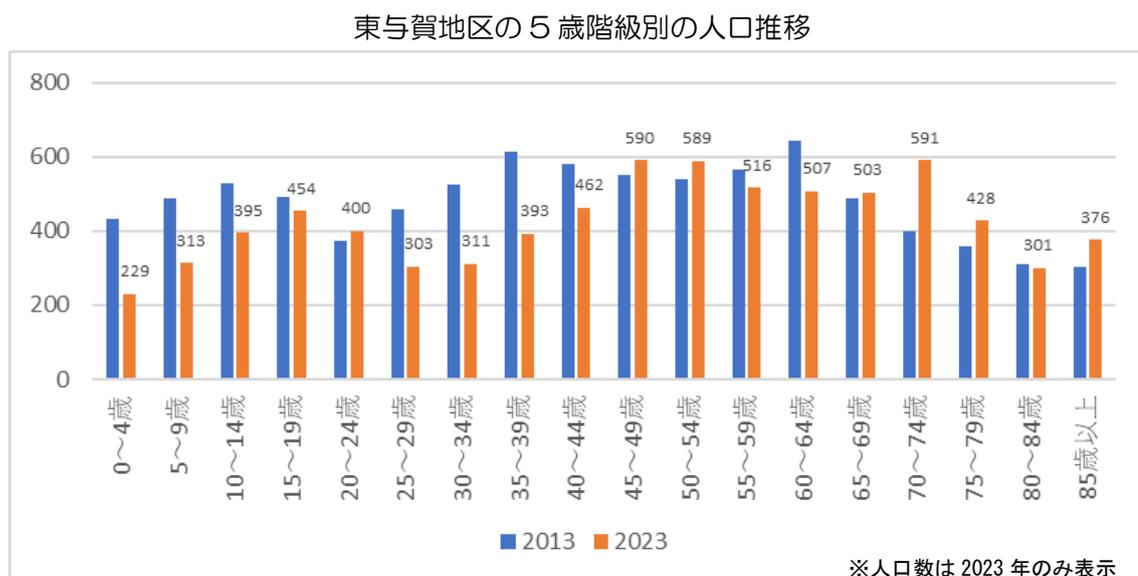
川副地区の5歳階級別の人口推移



出展：佐賀市(住民基本台帳)

### 1 1. 東与賀地区の5歳階級の人口推移

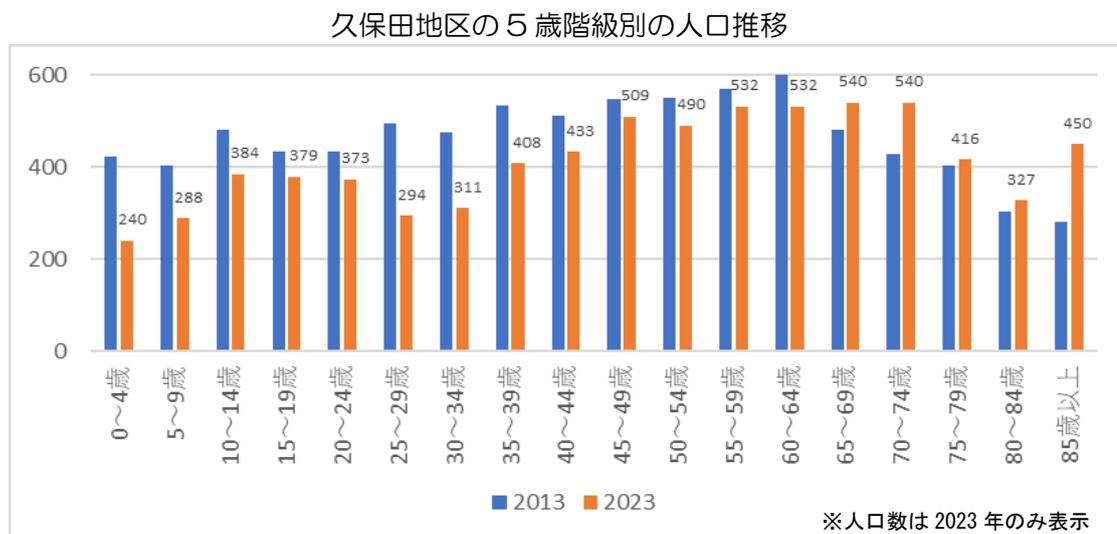
東与賀地区で、2013年と2023年の10年間で5歳階級別人口を比較すると、「0～19歳」、「25～44歳」、「55～64歳」、「80～84歳」は減少で、「20～24歳」、「45～54歳」、「65～79歳」「85歳以上」は増加しています。



出展：佐賀市(住民基本台帳)

### 1 2. 久保田地区の5歳階級の人口推移

久保田地区で、2013年と2023年の10年間で5歳階級別人口を比較すると、「0～64歳」は減少で、「65歳以上」は増加しています。



出展：佐賀市(住民基本台帳)

## 2

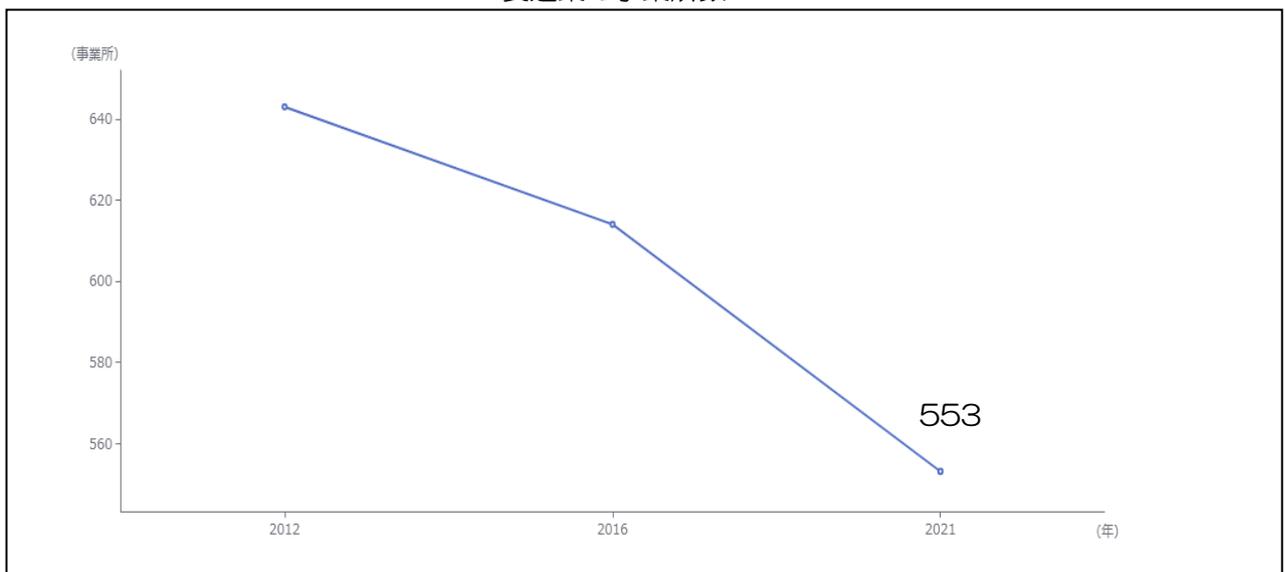
## 産業特性

RESAS より、佐賀市の産業特性を示します。

### 1. 製造業

佐賀市の製造業は、2021年現在、事業所数は553事業所、従業員は11,830人、売上高は270,478百万円となっています。事業所数は減少傾向にありますが、従業員数、売上高は増加傾向となっています。

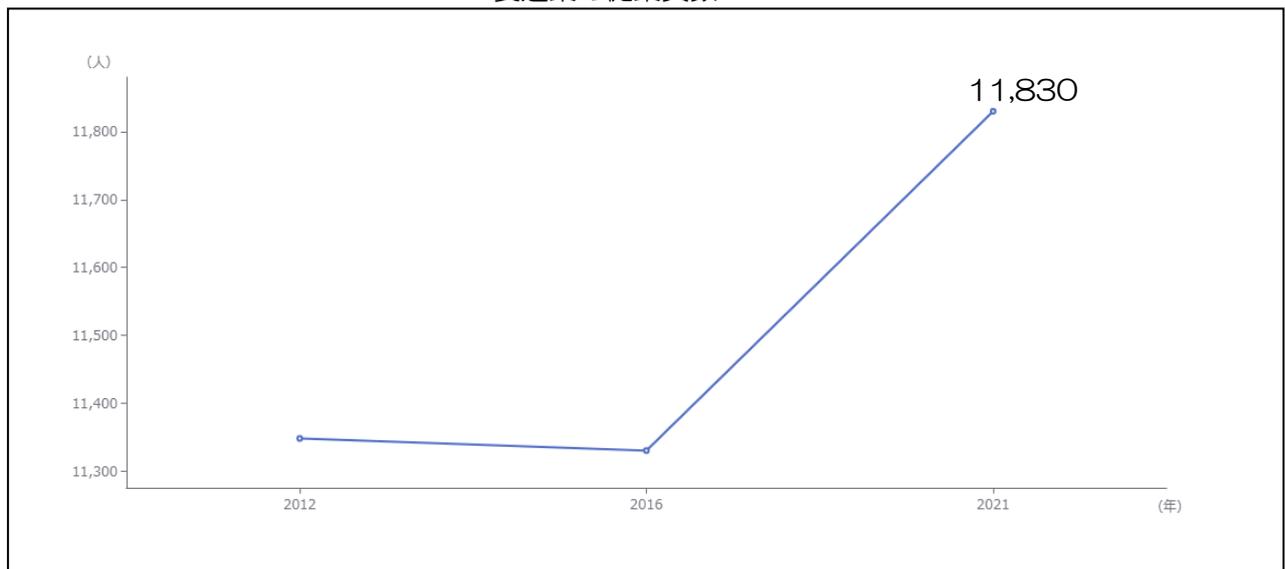
製造業の事業所数



出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 事業所数(事業所単位) → E 製造業

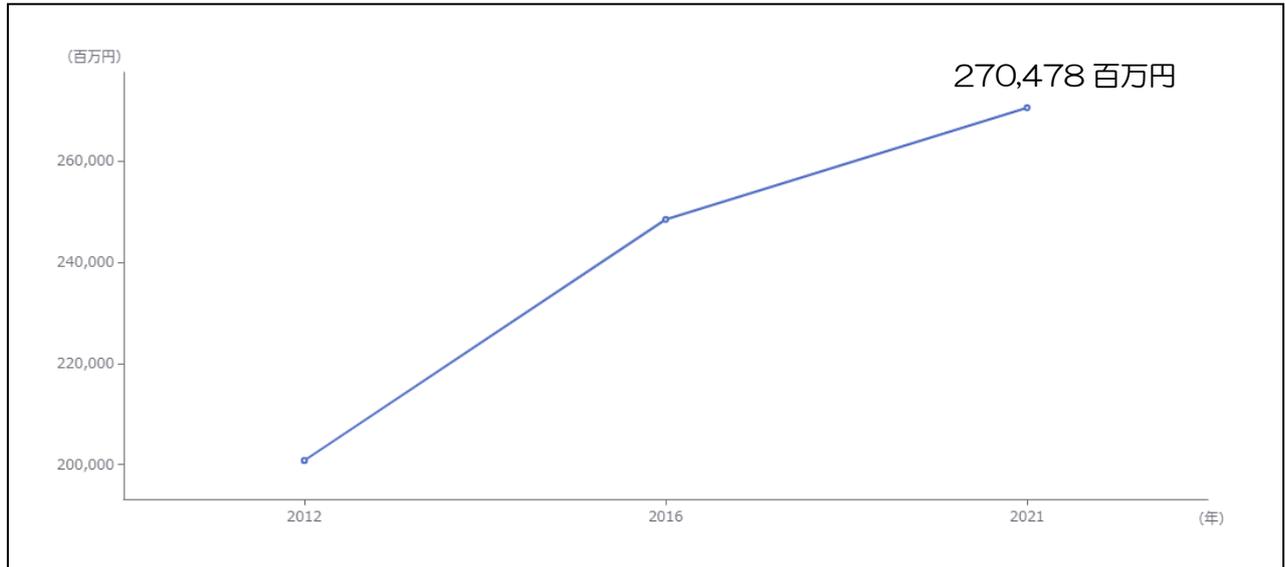
製造業の従業員数



出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 従業員数(事業所単位) → E 製造業

### 製造業の売上高



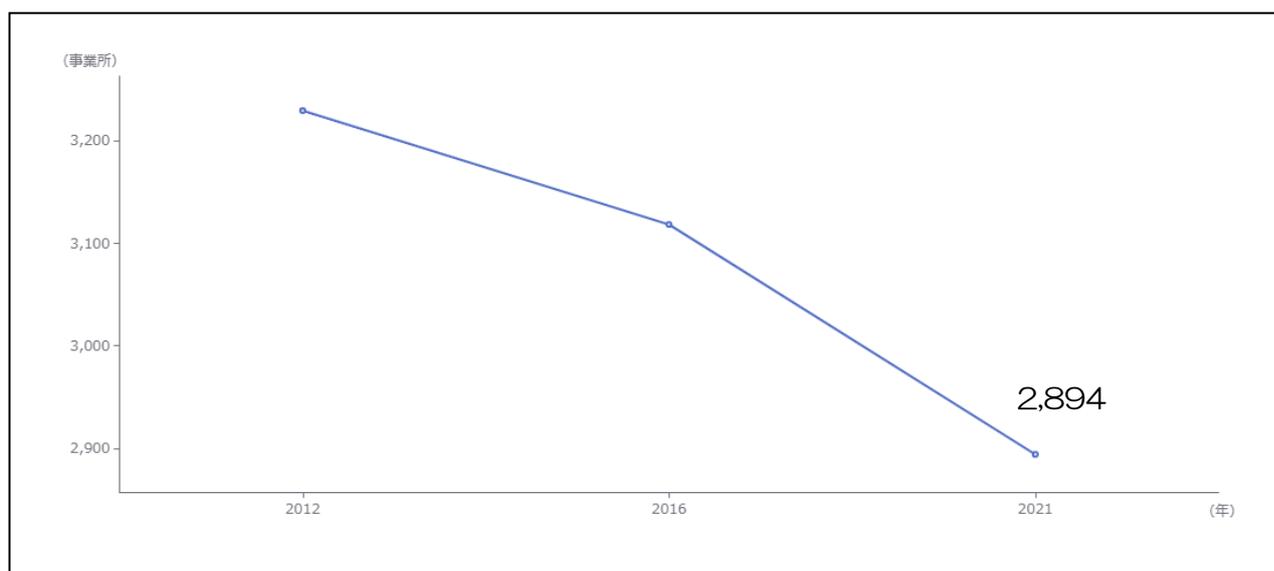
出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 売上高(企業単位) → E 製造業

## 2. 卸売業・小売業

佐賀市の製造業は、2021年現在、事業所数は2,894事業所、従業員は23,341人、売上高は691,811百万円となっています。事業所数、従業員数は減少傾向にありますが、売上高は増加傾向となっています。

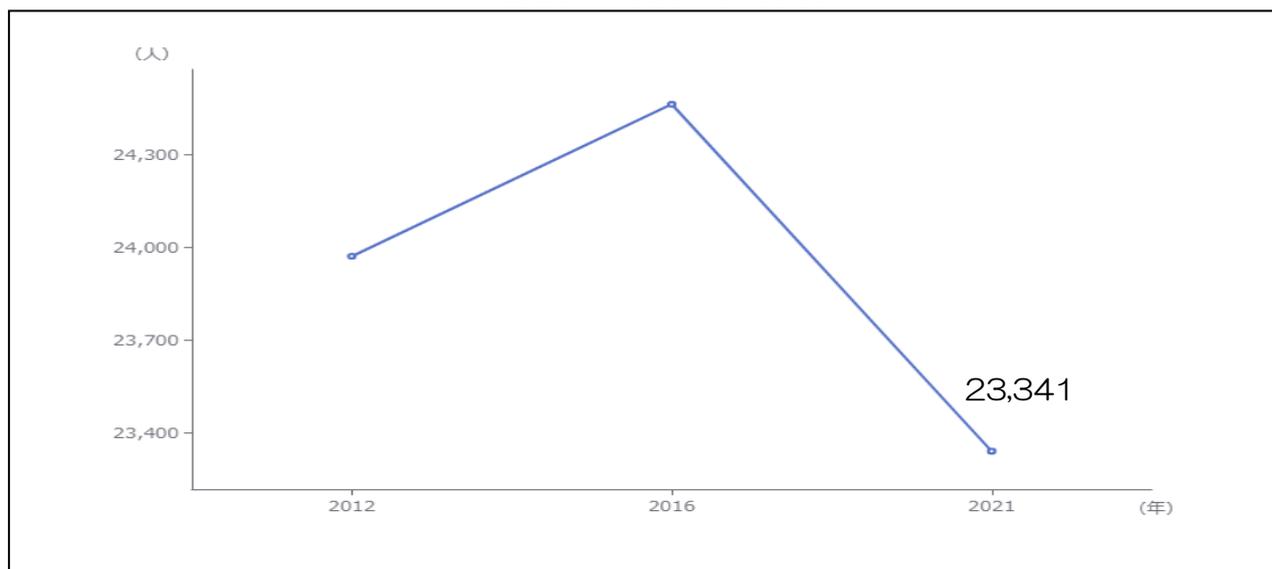
卸売業・小売業の事業所数



出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 事業所数(事業所単位) → |卸売業・小売業

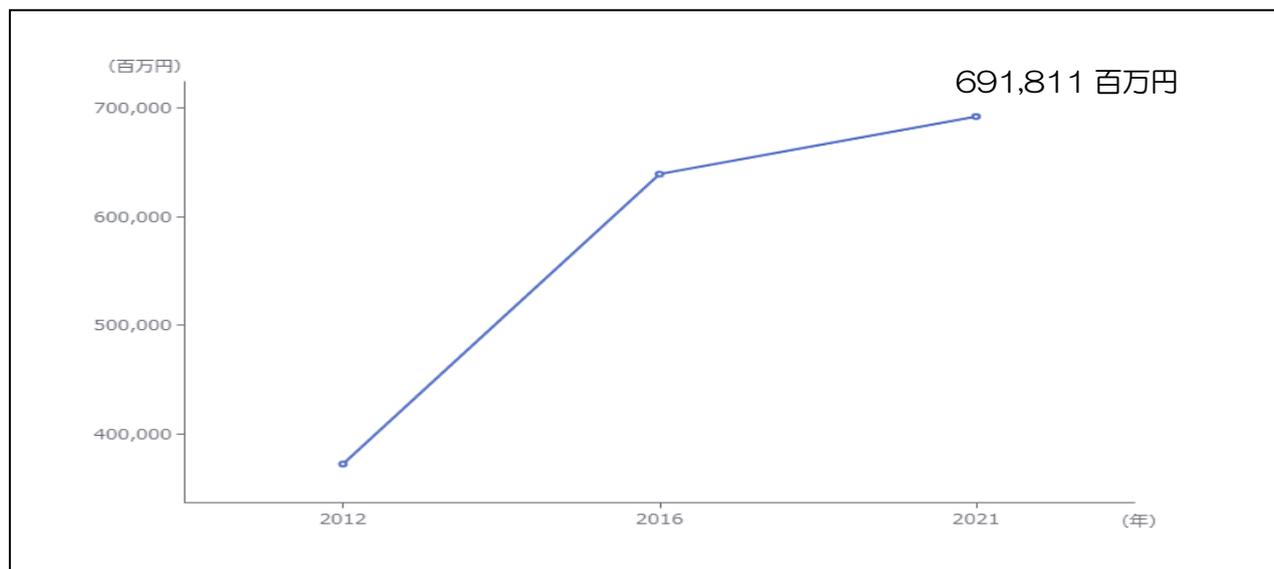
卸売業・小売業の従業員数



出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 従業員数(事業所単位) → |卸売業・小売業

### 卸売業・小売業の売上高



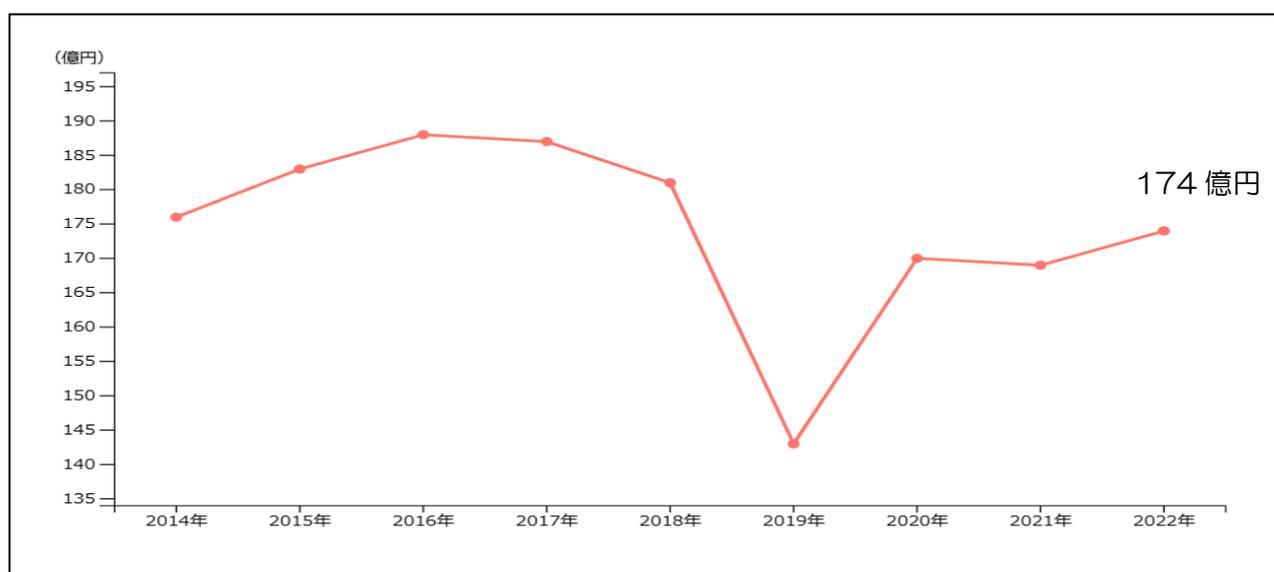
出展：経済センサス-活動調査、経済動向実態調査

※RESAS 操作 産業構造マップ → 全産業の構造 → 推移(全産業) → 市町村単位(佐賀市) → 売上高(企業単位) → |卸売業・小売業

### 3. 農業

佐賀市の農業は、2021年現在、農業産出額は174億円となっています。ここ3年ほどは、横ばいとなっています。

農業産出額



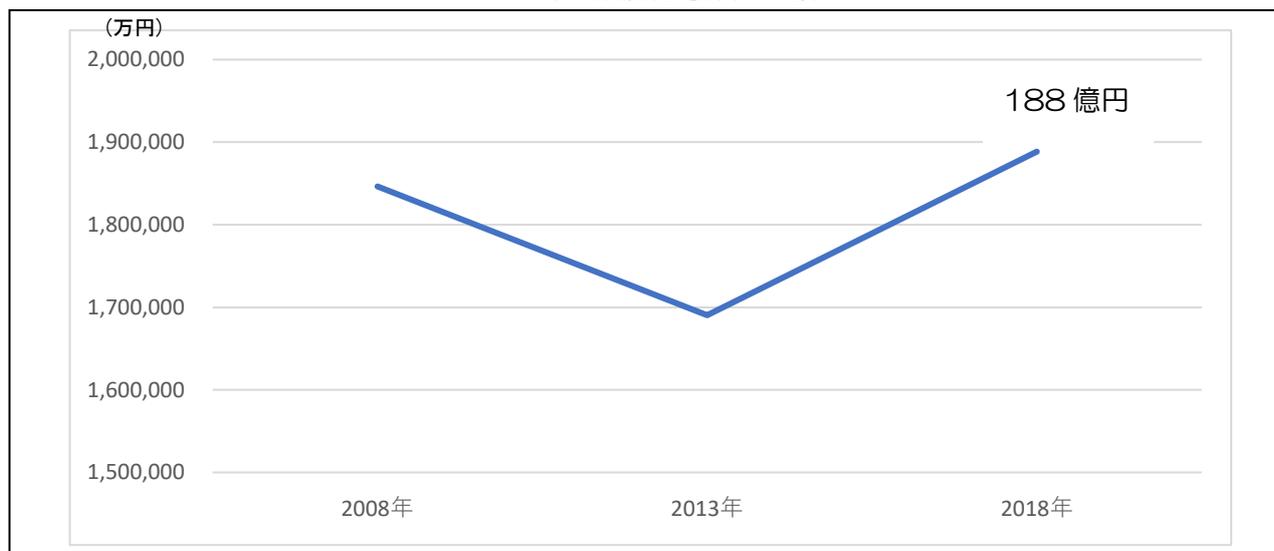
出展：市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

※RESAS操作 産業構造マップ → 農業 → 農業産出額 → 市町村単位(佐賀市) → グラフを表示

### 4. 漁業

佐賀市の農業は、2018年現在、農業産出額は188億円となっています。2013年と比較して増加傾向にあります。

海面漁獲物等販売金額



出展：農林水産省「漁業センサス」

※RESAS操作 産業構造マップ → 水産業 → 海面漁獲物等販売金額 → 市町村単位(佐賀市) → データーをダウンロード → グラフ作成

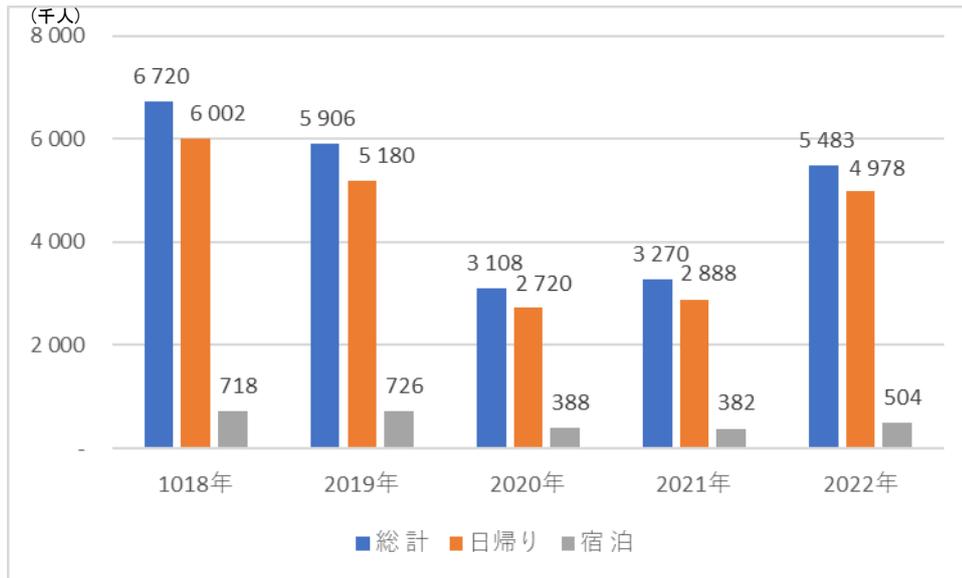
# 3

## 観光・交流人口

### 1. 佐賀市を訪れる観光客数

佐賀市の人口は、2022年現在、総計 5,483 千人で、日帰り 4,978 千人、宿泊 504 千人と なっています。2020年には新型コロナウイルスが発生し、大きく落ち込んでいます。

佐賀市を訪れる観光客数推移

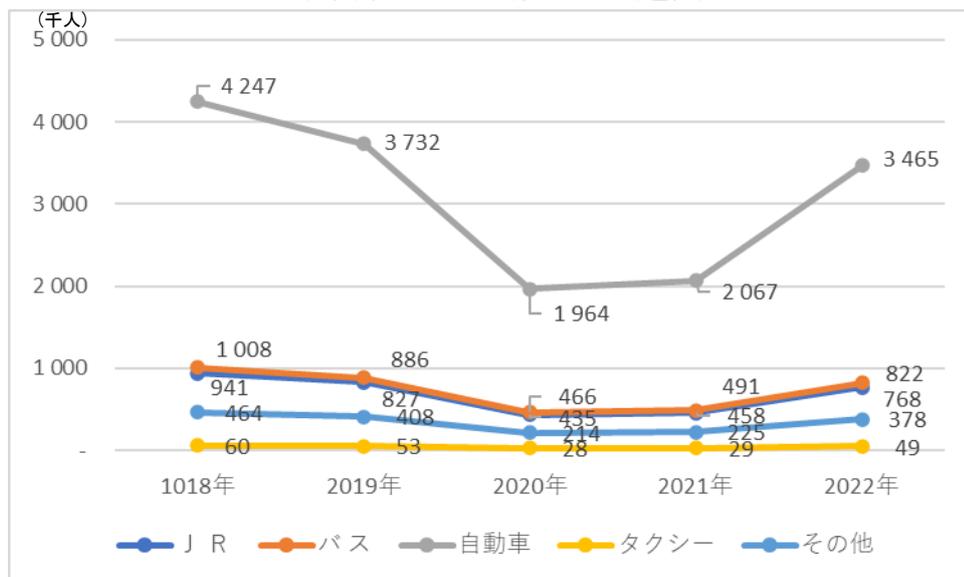


出展：佐賀市統計データ

### 2. 佐賀市を訪れる観光客の交通機関

佐賀市を訪れる観光客の交通機関は自動車が多くなっています。

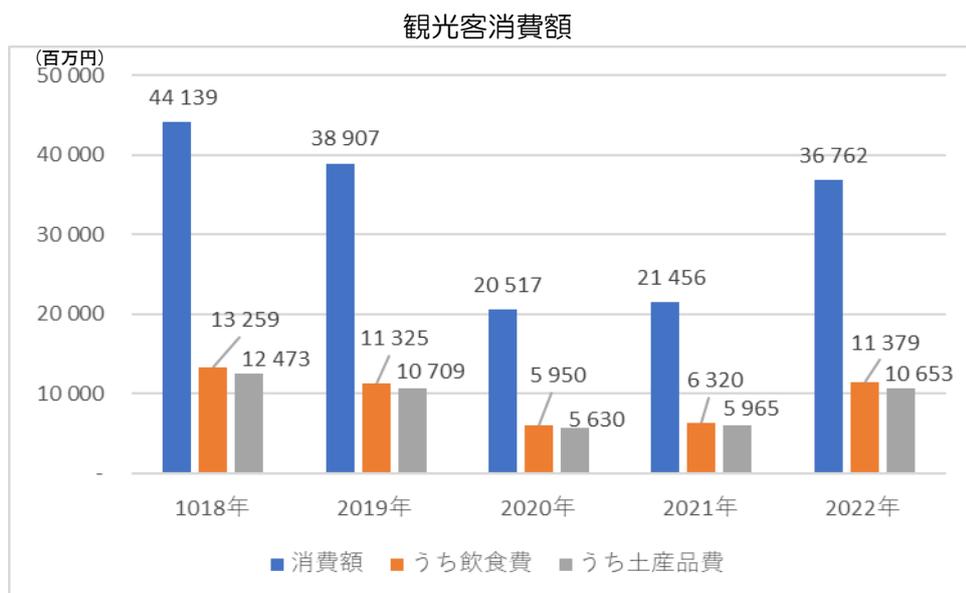
佐賀市を訪れる観光客の交通機関



出展：佐賀市統計データ

### 3. 観光客消費額

佐賀市を訪れる観光客の消費額は、2022年現在、36,762百万円となっています。うち、飲食費は11,379百万円、土産品費は10,653百万円となっています。

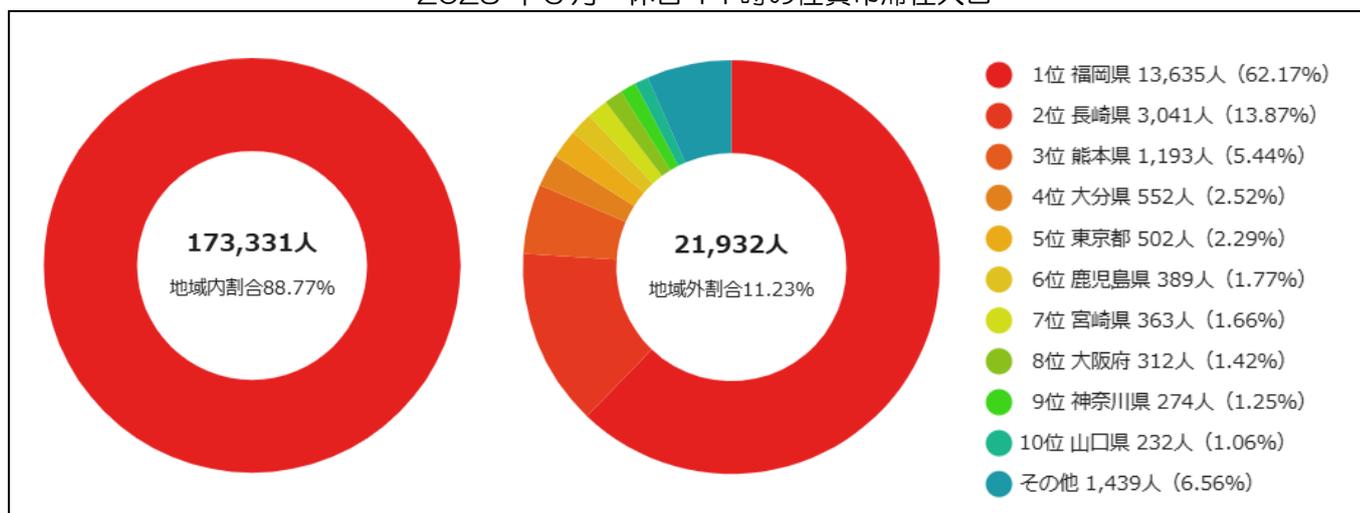


出展：佐賀市統計データ

### 4. 佐賀市に滞在した居住者の状況

2023年6月休日の14時に佐賀市に滞在した県外居住者を示します。滞在人口は173,331人で、うち県外居住者は21,932人で県外割合は11.23%となっています。県外居住者では福岡県が最も多く、次いで、長崎県、熊本県と続きます。

2023年6月 休日14時の佐賀市滞在人口

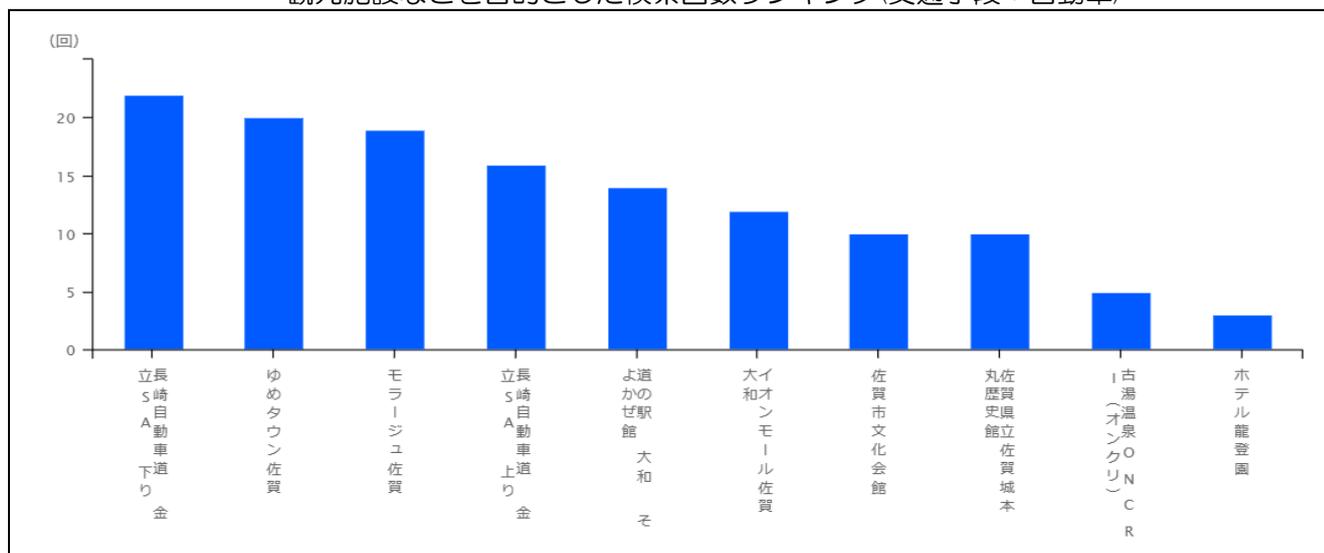


出展：(株)NTT ドコモ

## 5. 観光施設などを目的とした検索回数ランキング

2023年3月休日で経路検索サービスにて目的地として検索された回数が最も多いものを示します。自動車利用では、長崎自動車道金立SA下り、ゆめタウン佐賀、モラージュ佐賀などが多く、公共交通利用では、ゆめタウン佐賀、モラージュ佐賀などが上位となっています。検索では、ショッピングセンター利用が多くなっています。

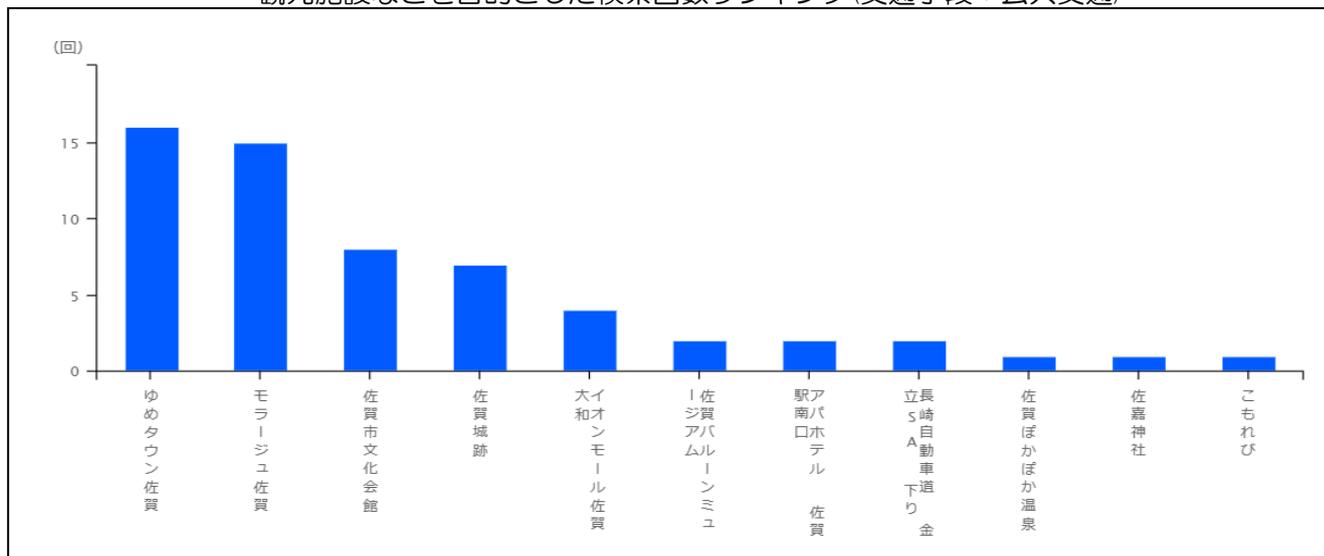
観光施設などを目的とした検索回数ランキング(交通手段：自動車)



出展：(株)ナビタイムジャパン

※RESAS 操作 観光マップ → 目的地分析 → 目的地検索ランキング → 自動車

観光施設などを目的とした検索回数ランキング(交通手段：公共交通)

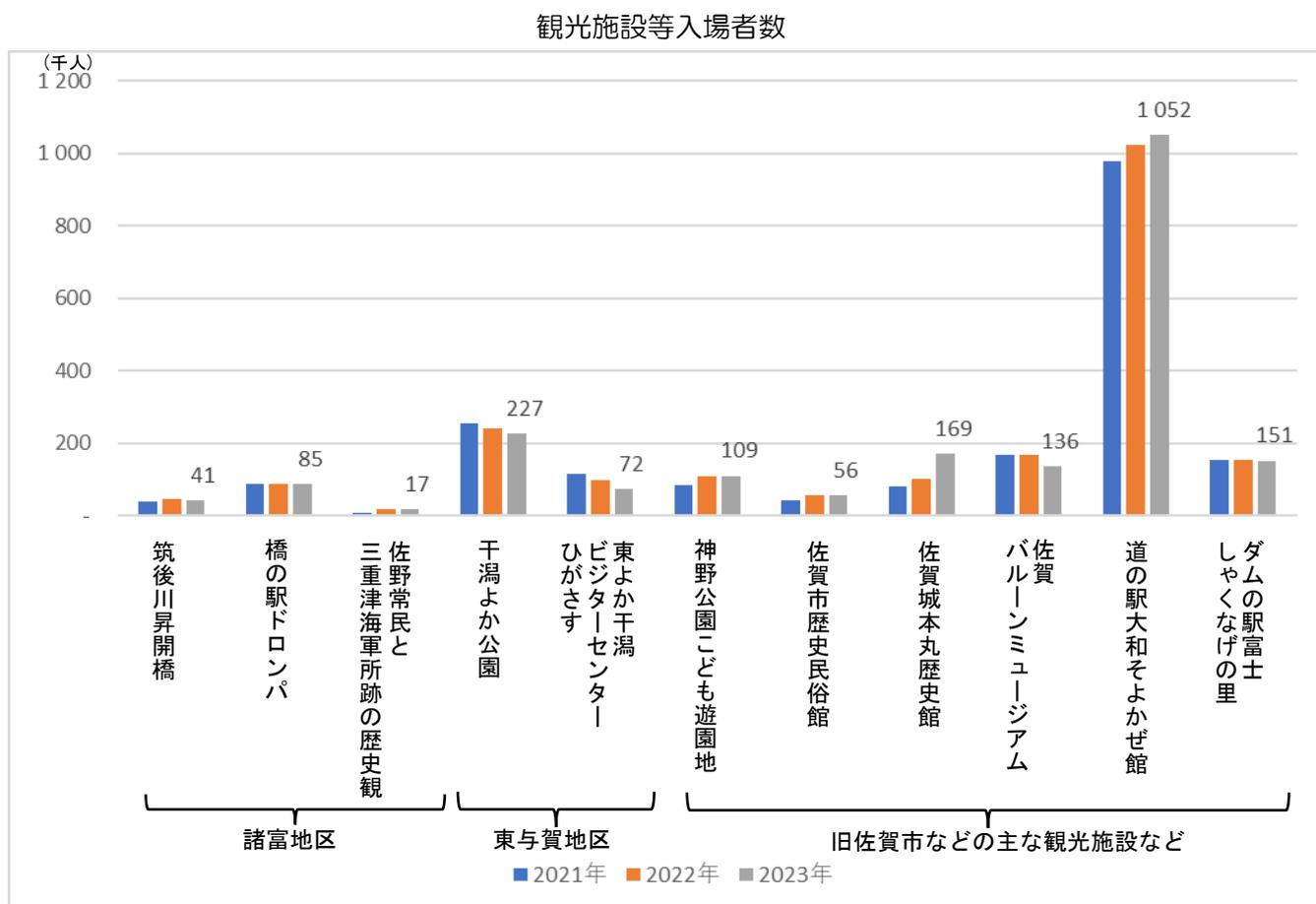


出展：(株)ナビタイムジャパン

※RESAS 操作 観光マップ → 目的地分析 → 目的地検索ランキング → 公共交通

## 6. 観光施設等入場者数

観光施設等の入場者数は以下のとおりで、佐賀市南部エリアでは、「干潟よか公園」で多くの利用があり、2023年で227千人の利用となっています。次いで、「橋の駅ドロンパ」85千人、「東よか干潟ビジターセンターひがさす」72千人と続きます。



出展：佐賀市統計データ

## 7. 観光イベント来場者

川副地区で開催されている「佐賀農業まつり」は、2021年から2023年まではコロナ禍により中止であったが、2020年開催時では、85,300人の来場者となっている。

東与賀地区で開催されている「シチメンソウまつり」は、2020年から2021年はコロナ禍により中止であったが、2019年開催時では20,403人、2023年開催時では6,000人の来場者となっている。

観光イベント来場者

単位：人

	イベント名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
川副地区	さが農業まつり	89,700	85,300	中止	中止	中止
東与賀地区	シチメンソウまつり	20,403	中止	中止	6,300	6,000

出展：佐賀市統計データ



## 1. アンケート調査の目的と方法

### ■目的

佐賀市南商工会地域において、地域資源などを活用した交流人口増大を進めていくために、現行のお客様の動向、及びエリア内の地域資源の認識などについて調査を行った。アンケート実施場所は観光客などの立ち寄りも多い、橋の駅”ドロンパ”にて実施した。調査は平日と休日にて実施した。結果を今後の交流人口推進策に活かしていくものである。

### ■調査期間

- ・平日 令和6年12月18(水) 9:00~13:00
- ・休日 令和6年12月21(土) 9:00~13:00

### ■調査方法

- ・平日と休日で実施した。
- ・それぞれ30通を回収目標とした。
- ・ドロンパ来店のお客様にアンケート調査協力を依頼して、原則ヒアリング方式にて調査を行った。資源については、複数種類あるため、必要に応じパネルにて資源説明を行いながら進めた。
- ・回答者には粗品をプレゼントした。粗品は、地元の銘菓である、うさぎや菓子舗の丸ぼうろ、えつサブレ、徐福饅頭を用意し、好きなものをひとつ選んでいただいた。

### ■回収数

- ・平日 令和6年12月18(水) 42通
- ・休日 令和6年12月21(土) 33通

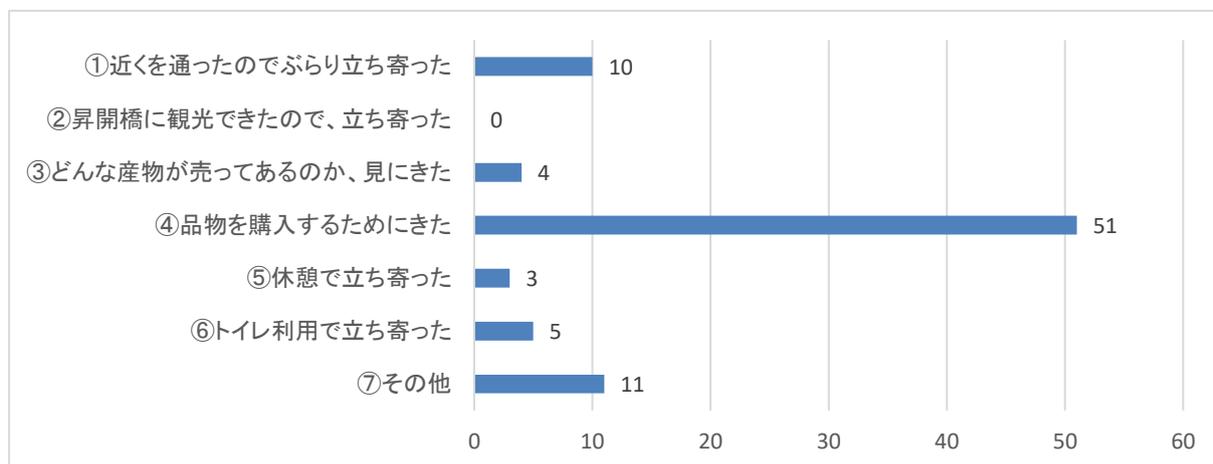
### ■調査の様子



## 2. アンケート調査結果

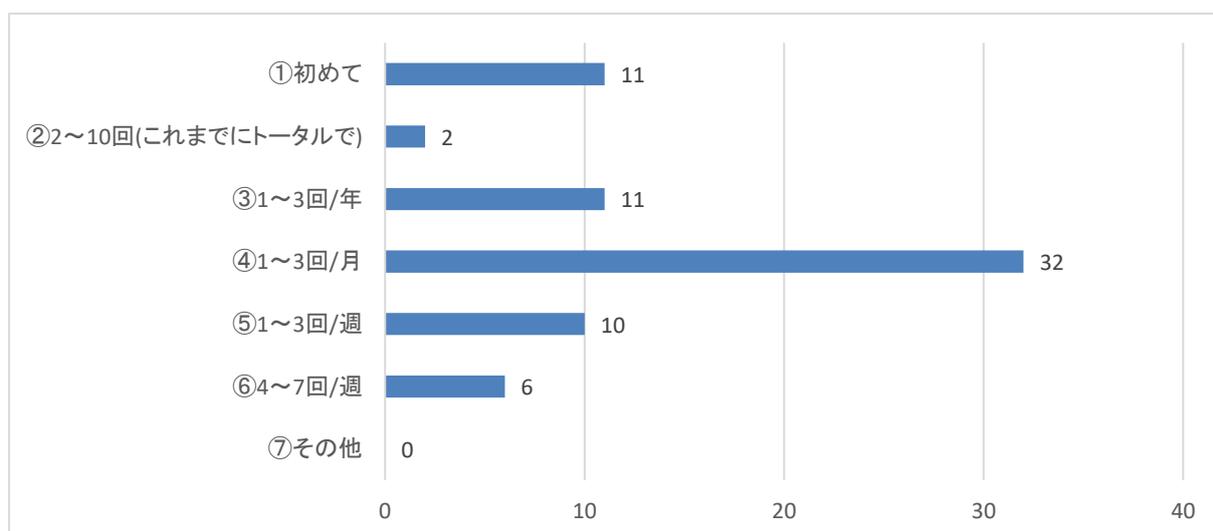
### 1. ” ドロンパ” はよくご利用されますか

問1 今回、ドロンパに来店された目的は何ですか。(複数回答可) (平日・休日合計)



- ・ドロンパに来店された目的としては、「品物を購入するためにきた」が 51 名、61%で最も多い。
- ・次いで、「その他」で、内容は、お土産を送りに来た、納品に来た、「新海苔あります」の表示があったので立ち寄ったなどとなっている。
- ・次が、「近くを通ったのでぶらり立ち寄った」と続く。

問2 ドロンパのご利用はどの程度ですか。おおよそで結構です。



- ・利用頻度については、「1～3回/月」が32名、44%で最も多い。
- ・次いで、「初めて」、「1～3回/年」、「1～3回/週」と続く。「4～7回/週」も8%を占める。リピートのお客様が多くなっている。

## 2. 「ドロンパに来る途中行ったところ」、「これから行くところ」はどこですか

問3 今回のご移動では、どのようなところを巡られるご予定でしょうか。記入例を参考にいただき、訪問した場所やこれから訪問する場所などをご記入ください。

### ■訪れた場所

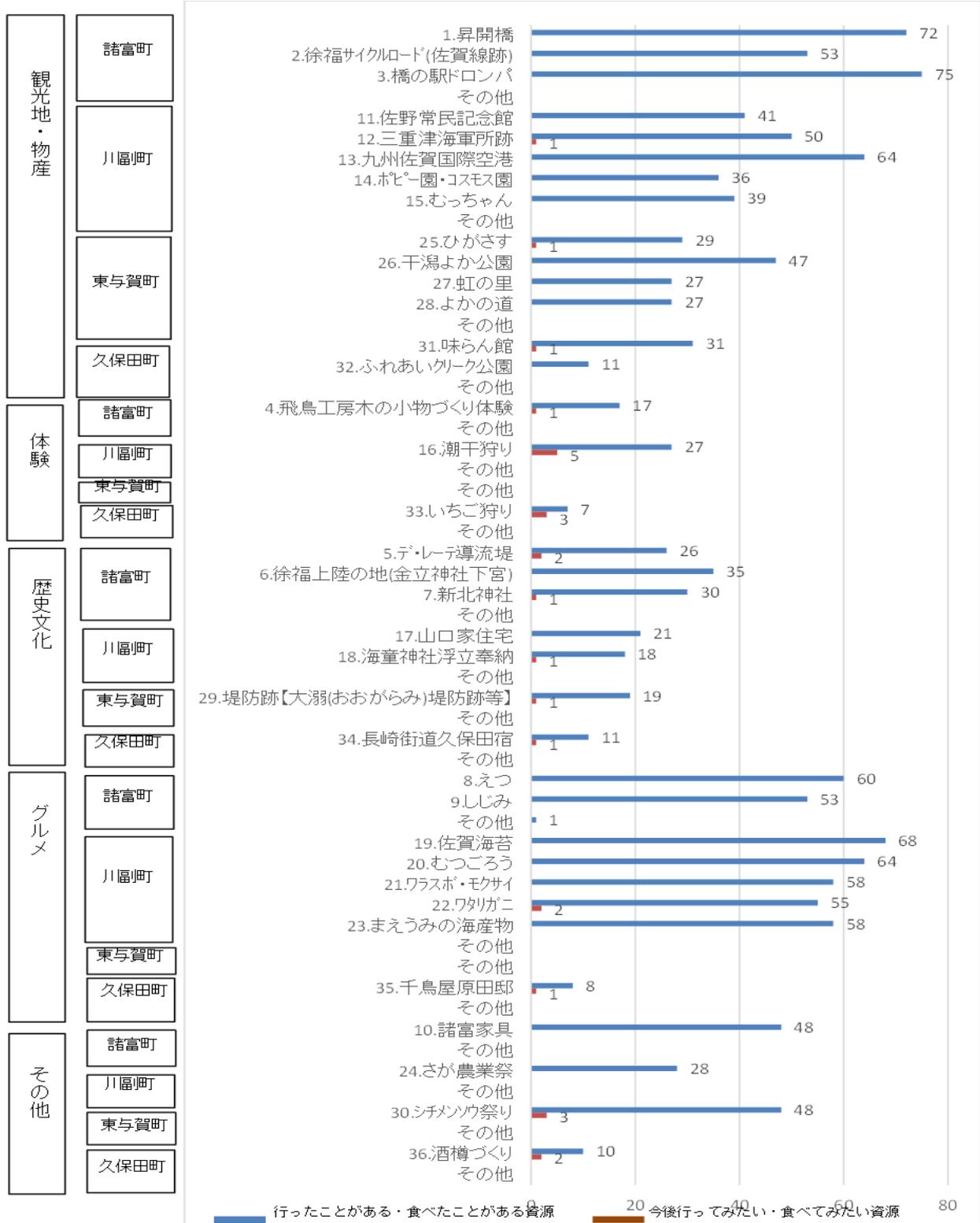
- ・ドロンパに来るまでに訪問した場所で、特徴的な場所としては、「ベルサイユの卵」、「道の駅白石」があげられる。「ベルサイユの卵」は朝のみ営業の卵屋さんであり、卵購入を目的に遠方からも訪れていて、その後、ドロンパに立ち寄られている。「道の駅白石」との回答も多く、物産所巡りを楽しまれているものと思われる。
- ・日常生活の中で、仕事途中で立ち寄られたり、病院に行った帰りに立ち寄られている。またスーパーや百貨店に買い物に行った帰りにも立ち寄られている。
- ・観光資源では、三重津海軍所跡、味の素工場見学後に立ち寄られている。

### ■これから訪れる場所

- ・これから訪問する場所で、特徴的な場所としては、「道の駅白石」があげられる。沿岸道路使用でアクセスしやすく、次の目標地点となっている。また、「味らん館」、「むっちゃん」、「よかの道」もあげられており、新鮮な農・海産物が揃う直売所は佐賀市南部地域訪問の大きな魅力のひとつとなっている。
- ・日常生活の中で、仕事途中で立ち寄られ、仕事に戻る方やスーパーや個店に向かうとする回答も多い。
- ・観光資源では、「ひがさす」に行く予定と回答がある。また、「鹿島祐徳稲荷神社」との回答もあり、有明海南部エリアの周遊を楽しまれている。

### 3. 佐賀市南部エリア(諸富・川副・東与賀・久保田)の地域資源についてお聞きします

問4 諸富・川副・東与賀・久保田には以下のような地域資源があります。行ったこと・食べたことがある資源に○印をつけてください。そして今後行ってみたい・食べてみたい・興味がある資源に◎印をお付けください。



- ・行ったこと、食べたことがある(知っているを含む)地域資源では、観光地・物産、グルメ系の回答が多く、これらの資源は認知度が高い。
- ・観光地・物産では、アンケートを実施した場所がドロンパであるため、ドロンパ、昇開橋などの回答が多くなっている。他の資源で、例えば、よかの道などの直売所は約4割程度の方の認知となっており、良さを伝えるなどのPRに取り組む必要がある。
- ・体験では、「潮干狩り」が最も認知度は高いが、他の体験メニューも含め全体的にあまり知られていない。
- ・歴史文化は、諸富町の資源は比較的認知度が高いが、他の資源はあまり知られていない。
- ・グルメでは、有明海産の海産物について認知度は高い。
- ・その他では、諸富家具、シチメンソウ祭りなどは認知度は高い。諸富家具について認知度が低い。福岡県居住の方などは、大川家具という認識が強いものと思われる。
- ・今後行ってみたい・食べてみたいとする資源で関心が高かったのは、「潮干狩り」、「いちご狩り」で体験ものの充実が必要と考えられる。

## 4. 自由意見

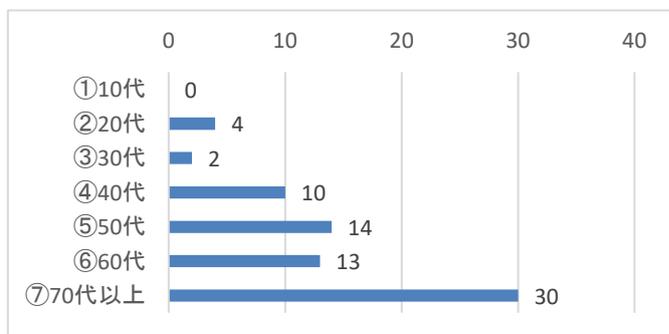
(上記の地域資源を活かした取り組みや佐賀市南部地域の活性化について、アイデアや意見があればご自由にお書きください)

- ・アンケート調査時に、地域資源をパネルなどで説明したが、知らないとする資源も多く、関心は高かった。そのため、「資源などをまとめたパンフレット、冊子などがあるといい」、「SNSなどでテーマ別に情報発信する」とする意見が多くでてくる。歴史好きの方は、導流堤、三重津海軍所跡などに惹かれるとの回答もあり、「佐賀肥前の南部地域の歴史文化をもっと紹介する」などを行い、地域の魅力を伝えていくことが重要である。
- ・体験に関しては、「子供向けの体験を知りたい」とする意見がでてくる。
- ・「ドロンパは海産物、農産物などが魅力でこれらを求めに来る」との意見が多くでてきて、「海産物などの情報発信を行う」、「農産物を紹介する」、「域内にある各種物産所を紹介する」の意見がでてくる。佐賀市南部地域の最大の魅力は、豊かな海産物、農産物であり、季節ごとの産物の紹介を行ったり、周遊ルートを作ったりして交流人口増大を進めていくことが考えられる。
- ・また、この地域はゆったり、のんびりしているところが良く、このままでよいとする意見もでてくる。佐賀平野に広がる稲穂や麦畑など、広々とした景色が心を癒すものと考えられる。
- ・その他、「イベントでPRする」、「沿岸道路の早期実現」、「自衛隊駐屯地の活用」などの意見もでてくる。

## 5. あなたの性別、年齢などを選んでください

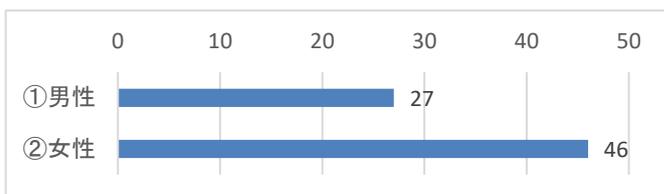
### ■性別・年齢など

#### ◇年齢



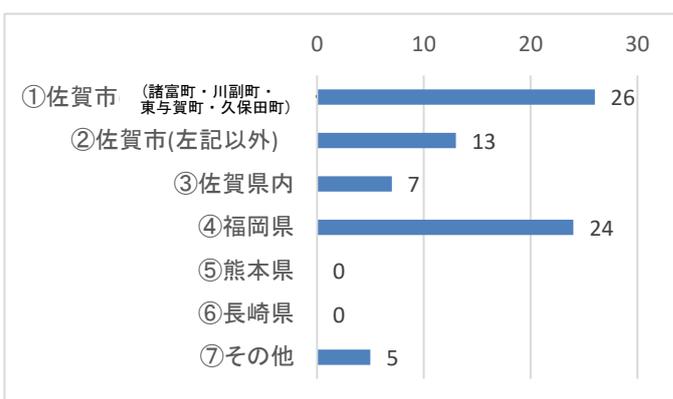
・年代は70代以上が最も多く、次いで、50代、60代と続く。中年から、年配の方の利用が多い。

#### ◇性別



・回答者は、男性：女性＝4：6程度の割合となっている。

#### ◇居住地域



・居住地域は「佐賀市(諸富町・川副町・東与賀町・久保田町)」が最も多く、26名35%となっている。次いで「福岡県」24名32%と続く。福岡県では、「大川市」、「久留米市」が多くなっている。次いで、「佐賀市(旧町除く)」と続く。ドロンパには、地元及び周辺地域からの来店が多い。

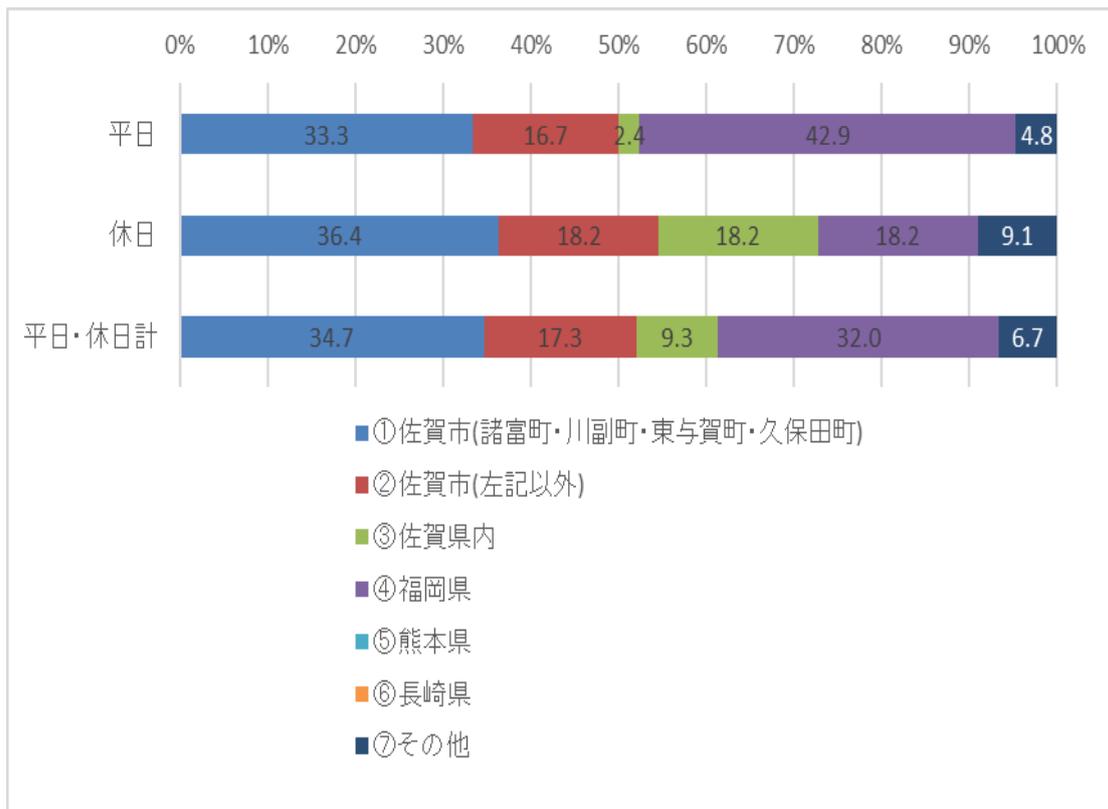
## <平日と休日の比較(回答割合)>

### ◇年齢



・平日は休日に比べ、「40代」、「50代」の利用割合が高く、休日は平日に比べ「60代」、「70代以上」の利用割合が高い。

### ◇居住地域



・平日は、「福岡県」からの利用割合が高く、休日は、「佐賀県内(佐賀市除く)」、「その他の県」の利用割合が高い。休日はより広域からの来店が多い。